



戸田市教育委員会
教育長 戸ヶ崎 勤

* 挨拶 *

令和2年度戸田市立教育センター教科等研究グループ（教育センター研究員）等による研究の成果がまとまりましたので、ここに「戸田市教育研究集録」として刊行いたします。

今年度は、124名の教育センター研究員の皆様に、「令和2年度戸田市の指導の重点・主な施策」をもとにしながら、ICTを活用した学習の在り方について研究を深めていただきました。

過日、国の中央教育審議会より『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』に関する答申が出されました。その中に今後の教師の在り方にも言及されています。今後も新学習指導要領に基づき、一人一人の子供を主語にする学校教育の実現に向けて、先生方がアクティブ・ラーナーとなり、不断の授業改善に取り組まれることを願っております。

結びに、真摯に研究を進められました先生方に対し敬意を表しますとともに、多くの先生方が学校や教科等の研究、新しい学びの推進役となっていただくことを期待申し上げ、挨拶といたします。

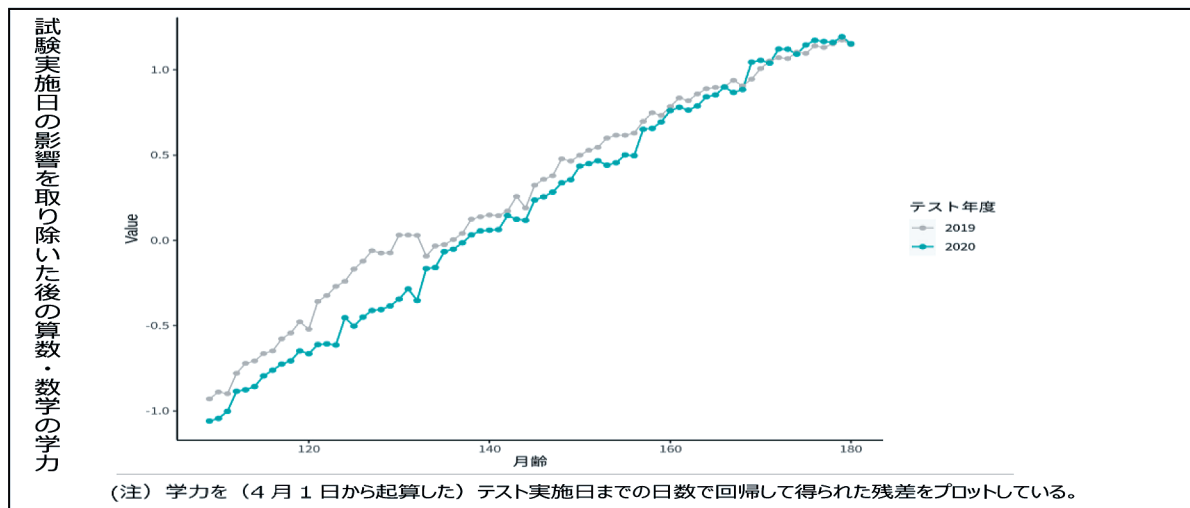


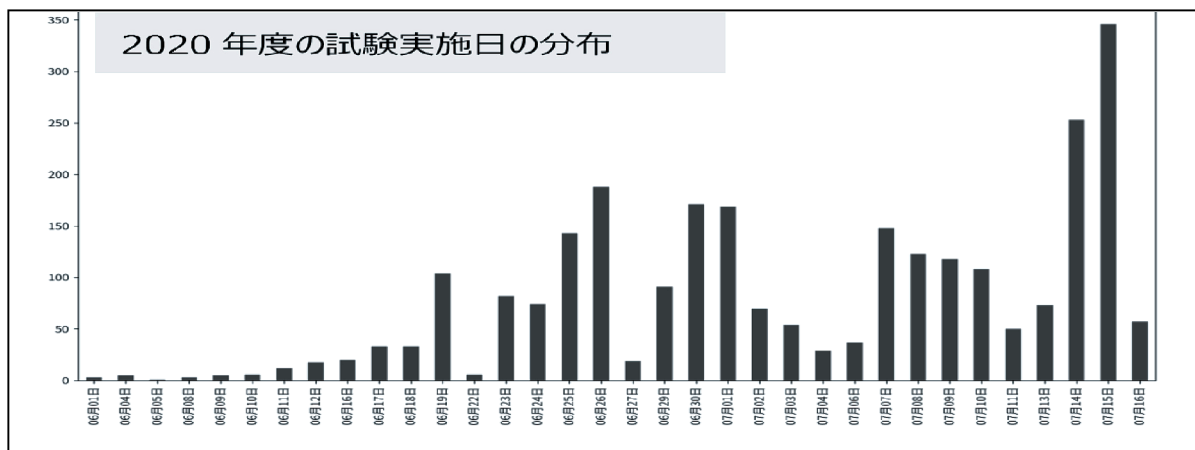
埼玉県学力・学習状況調査分析から

慶應義塾大学 総合政策学部
教授 中室 牧子氏

今年はコロナウイルス感染症に始まり、それに終わった年だったように思う。特に、第1回目の緊急事態宣言下で、3か月にも及ぶ臨時休校の要請が出たことは、教員・児童生徒の双方にとって大きな負担となった。今回の臨時休校が子供たちの学力や学歴、将来の賃金などにどのような影響を与えたかは、もう少し後になってからでないと評価が難しいが、過去には天候・教員のストライキ・狙撃事件などによって余儀なくされた「臨時休校」が子供の学力や学歴、将来の賃金などに与えた影響を推定したものがある。そのうちのいくつかを紹介すると、アルゼンチンで発生した88日間のストライキによる臨時休校を経験した小学生は、学歴に負の影響があったのみならず、将来の賃金も男子で3.2%、女子で1.9%低下したことが明らかになっている (Jaume, & Willén, 2019)。

つまり、臨時休校の影響は長期にわたって持続する。また、臨時休校の影響を受けやすいのは、低学年の生徒・児童であることも分かっている。アメリカのメリーランド州で、降雪等による天候要因の臨時休校の悪影響は高学年より低学年のほうが大きかった (Marcotte, 2007)。また、休校は、理数系科目への負の影響が大きいという指摘もある。各授業の学習内容が独立している教科と比較すると、過去からの積み上げが重要なためだ (Baker, 2013)。

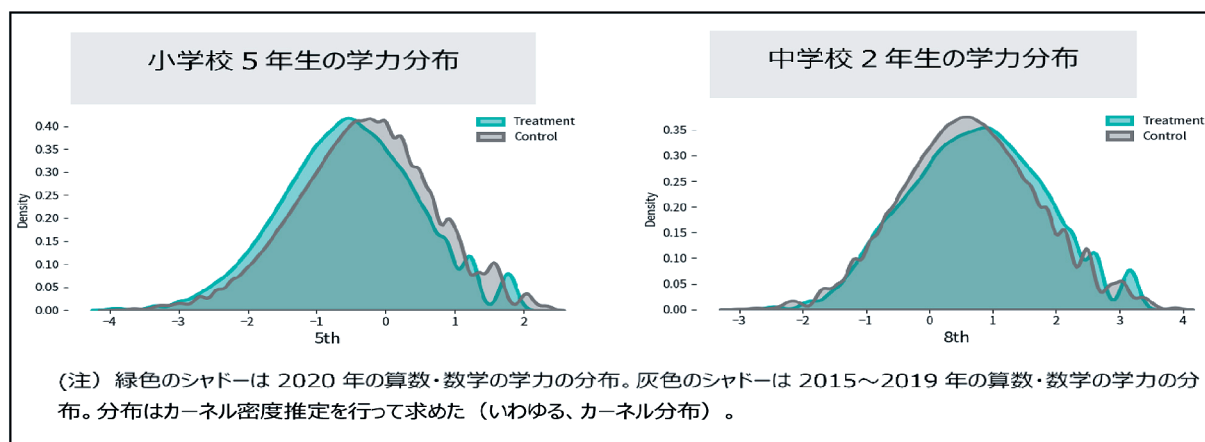




※例年は、全校が4月中旬に実施しているが、2020年度は上図のとおり学校ごとに実施日が異なる。

2020年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果について、昨年の2019年度と比較すると、小学生の算数の学力で顕著な低下がみられる。国語には同様の低下は見られないので、過去の研究が指摘するように、小学校低学年の理数系科目で負の影響があったのかもしれない。

2019年度と2020年度の学力差のすべてが臨時休校の影響によるものとは限らない点には留意が必要だが、算数・数学の学力は将来の賃金に直接影響するという研究は多い (Joensen & Nielsen, 2009; 2016; Cortes, Goodman & Nomi, 2015)。2021年度にこうした不利を取り返すような試みが必要ではないか。



このような中、今年度も戸田市教育委員会では、埼玉県学力・学習状況調査のデータをもとに、子供の学力を特に伸ばした戸田市内の小中学校28名の教師にインタビューをしている。その結果からは、子供たちにとって、分かりやすい授業となるよう、指示や発問を心掛けることや、一人一人の学びを大切にするという視点から、子供たちから考えを「引き出し」「つなげ」そして「深める」ような学習活動となるよう心掛けることが有効であることが明らかとなっている。また学級風土に関わる、教室で間違っても叱られない、子供たちが安心して学べる学習環境をつくることの大切さも強調されていた。これらも参考になる取組であると言える。